

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科

2011 年度 第Ⅲ期 論述試験課題

注意) 論述課題は、この用紙の裏面から 2 ページにわたって記載されています。

試験開始の合図があるまでこの用紙を開かないでください。試験時間は 60 分です。

[論述課題]

自転車は手軽な移動手段として広く使われており、その環境や健康にもたらす効果も認識されて利用者は増加している。しかしながら図 1 に示されているように、自転車による事故の交通事故全体に占める割合は漸増しており、平成 22 年には 20.9%と 4 年続けて 2 割を超えている。

事故の種類としては、図 2 に示されているように、出会い頭による事故が半数以上を占め、次いで右左折時の衝突と続いている。このような事故の原因は、図 3 に示すように、安全不確認が最も多く、その他、一時不停止、信号無視等がある。

自転車の安全な乗り方のルールとして、自転車は原則的に車道を左側走行し、歩道走行時は歩行者優先で車道寄りを徐行することが決められている。その他、大人の二人乗りの禁止、夜間ライトの点灯、信号機に従う等の安全ルールの厳守、子供のヘルメット着用等が決められているにもかかわらず、多くの事故が発生している。

以上の情報を参考にして、自転車事故を減らすための、社会的側面あるいは技術的側面からの独自の提案をし、その期待する効果についても記述しなさい。要約を 100 字以内で記述するとともに、さらにその内容を 700 字以内で詳しく記述しなさい。

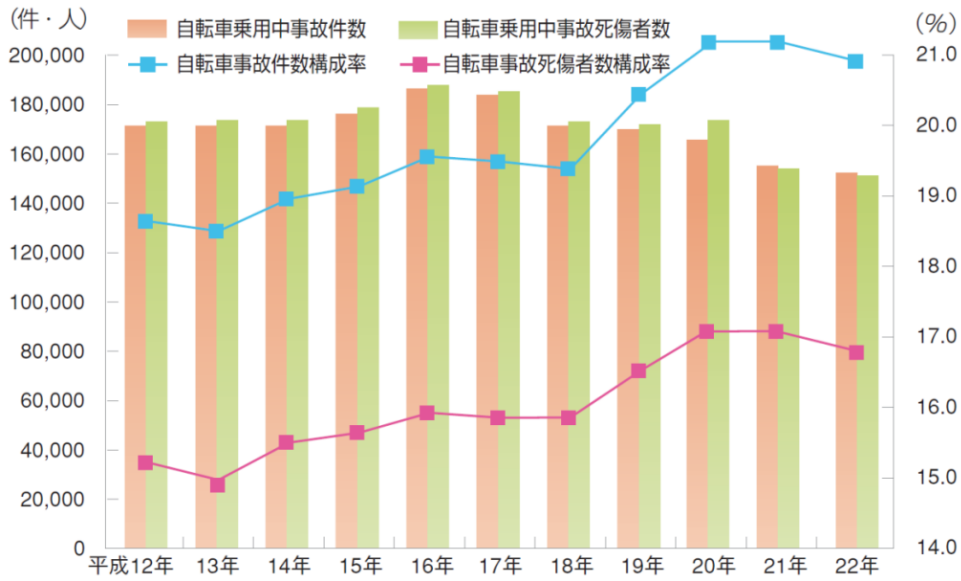


図1 日本での自転車事故件数・死傷者数の推移

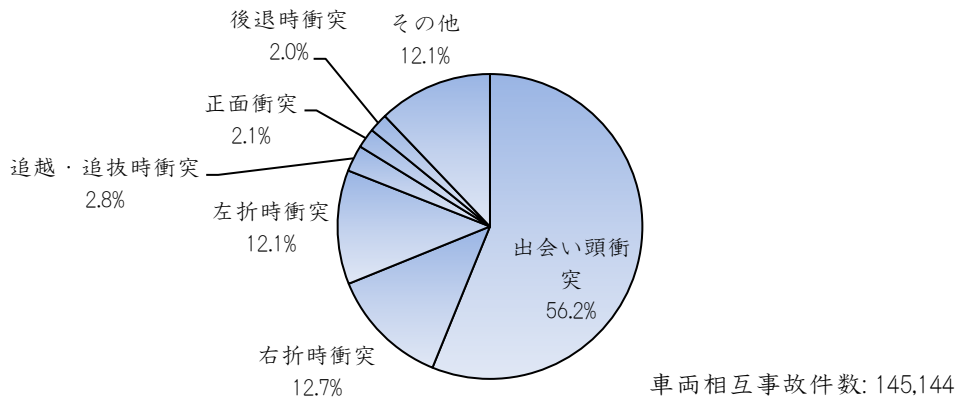


図2 日本での自転車乗用車 事故類型別事故件数の割合 (平成22年)

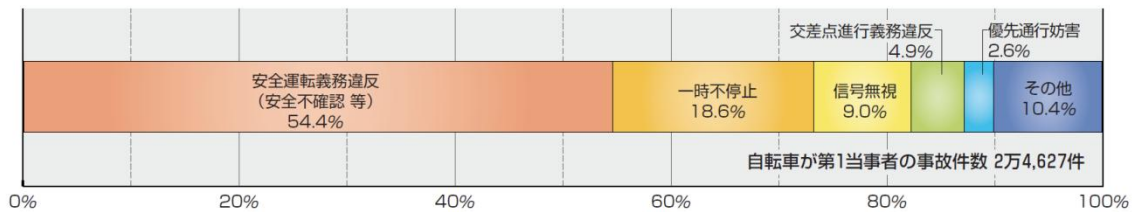


図3 日本での自転車の法令違反別交通事故件数の割合 (平成21年)

図の出典：社団法人日本損害保険協会 自転車の事故 2011年